

エナガ(エナガ科) 全長14センチ

厳冬期の1月17日。

真冬でも元気に活動する小鳥たちがいました。雄物川の岸辺に生える柳の枝先で、エナガとシジユウカラが動き回っていた。マイナス10度C以下の天気であったが、どちらも寒さに強いのでしょうか。



長い尾羽と短めのクチバシ。

動きは俊敏で、なかなかじっとしてくれません。

望遠レンズでやっと捕らえると直ぐに移動してしまうなど、撮影は難儀します。小枝上のエナガが、短めのクチバシで足下を突ついています。何かを食べているようですが、あまりにも早い動作で何をしているのか分かりませんでした。

後でビデオをスロー再生して確認すると、小さな冬芽を食べていたのです。



頻りに枝移りするので、シャッターチャンスはなかなかやってきません。



冬芽を食べていました。

ガイドブックによるとエナガの主な餌は昆虫類、クモ類、木の実などとあります。やはり柳の芽を食べていたのです。

この季節は昆虫、クモなどはほとんど見つからないことから、木の芽は冬の大事な食糧でしょう。



まん丸い体つきが可愛らしさを倍増。



後ろから見ると、淡い葡萄色と黒で決めています。



真後ろから見ると、まん丸かった。

尾羽が長く、柄の先に綿でもくっつけたような可愛らしい体型。いつまでも見飽きのしない小鳥でした。